

三重の森林と木づかいフェアへの出展

作成 清水 環 2010 年 10 月 3 日(土)

1. 開催場所 : 名張市総合体育館
2. 開催日 : 2010 年 10 月 3 日 10:00~16:00
3. 参加者 : 辻、清水
4. 主催・共催 : 三重県、「美し国おこし・三重」実行委員会
5. 内容 : ブース展示、10 分程度のプレゼンテーション



事前…持ち込んだモノ

[場づくり] 壁面に張るパネル。話のネタに木の年輪と、辻さん所有の実生の苗木。

[宣伝用] 旧冊子『水源の森プログラム』と 1 枚ものパンフレット、今年度の育成講座日程表、新『森を測る』『実践! まちのきこり人』、『森林の風だより』3・4号

今回は来場者へのお土産は用意しませんでした

(今後のために、少しずつ話し合いをしているところです。辻さんは、手編みのストラップをつけた木の名札、清水は名札に実や枝や葉をボンで貼り付けてもらうブローチ or 壁飾り、を考えています。)



当日…フェア参加の意義

今回は出展者としてこちらのことを知っていただくというより、辻さんと清水があちこちの森林組合、林家、製材、木工関係者の様子を知ったり学んだりするチャンス、と意味づけしていました。

ところがいざ始まってみるとびっくりしました。ブースの前で立ち止まる方にちょっと声をかけるとその方々がみな! 森林所有者だったり、所有者であるけど管理をあきらめたり逆にこれからやってみようかと思っている方々であったり、限界集落に住んでいて「イヤであろうが人の土地であろうがチェーンソーを持って木を切らねばならない」方々であったり、なのです。「全くの我流です」「来年の退職後に向けて」「技術は学んだが定年後の新天地で仲間がほしい」など、育成講座の需要を感じました。特に「チェーンソーのメンテナンス」はまゆ毛がひくくとする魅力のキーワード。

ブースをまわってついでに「しし井」「しかコロッケ」を味見るひまなく、柳生慎吾さんの講演をもれ聴く間もなく、絶えず訪れてくださる方々と話し、教えていただきながらあっという間の 1 日でした。

今回少し「啓蒙活動」の意味がわかりました。「イベント」とひとくくりにしてしまうのは乱暴でした。イベントやその来場者の性質によって選択したり、こちらの伝え方や参加の仕方を変えたりすればよいのだと感じました。この「木づかいフェア」は大人向けで、もともと森や木に関心がある人々の集まるイベントでした。

「環境を守ろう」「木を大切にしよう」という言葉は曖昧で、具体的な行動につなげにくい。「まちの木こり人育成講座に参加してください」「森林請け負います」と、森林の風の活動を宣伝することがそのまま、一番の啓蒙活動なのですね!

事後…

住所をうかがった 4 名の方に『森林の風だより 5 号』と新冊子を郵送。郵送リストに加えました。

来年度の育成講座に参加していただけたらうれしいです。

改善点

パネルの内容を森林の風活動案内の色をより濃くし、パソコン画面を置いてはどうか。(辻さん)
その場で配る資料は最小限に。来場者に住所や氏名を書いていただく用紙を用意する。(清水)

今後の課題

今回、興味を持っていたいた方は、いずれも 60 代の方々です。名張は遠いですし、ご自身の持つフィールドで「森林に入って安全に活動する」ために、育成講座の参加にはお誘いできましたが。

森林の風の活動に興味を持っていただくにはどうアピールしたらいいか、若い世代に向けては何をどう伝えるか、などが引き続き課題となっています。